

「親子で遊ぼう－夏休みオンラインサイエンス」

今年は新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止が相次ぐ中、大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークではオンラインでの子ども向けのサイエンスイベントを開催しました。在宅を強いられる子どもたちはwebにも飽きているかもしれないとの心配もありましたが、子どもたちの短い夏休みに少しでも楽しい時間を過ごしてもらいたいとの想いで企画しました。



令和2年8月19日（水）10:30～16:00に小学1～3年生を対象に、3回のコースに分けて24組を先着順で募集しました。初めての取り組みとしては、外国人の方にも参加してもらえるように、英語での対応を実施し、英語のHPの開設や英語の資料を用意しました。開催場所を産業科学研究所とし、新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で開催しました。

当日は本学のダイバーシティ&インクルージョン担当、工藤眞由美理事・副学長にご挨拶をいただきました。その後は、講師としてスタッフ2名と親子の参加者2組を1つのグループとして4～5つのクラスに分かれてそれぞれ工作実習を行いました。予め送付した黒い厚紙と分光シートを使って、我々講師の説明を聞きながら一緒に分光筒を作成してもらい、完成した分光筒を使って光を観察しました。白色（無色）に見えている光には、いろんな色が混ざり合っているということを知ってもらいました。分けられた7色の光をみて子どもたちは口々に「きれい」、「虹みたい」ととても嬉しそうな様子でした。光が分かれる仕組みを勉強した後、クイズにチャレンジ！みんな元気に答えてくれました。また動画で光を使った最先端の研究紹介や大阪大学で毎年開かれるイベント行事についても広く紹介しました。

今回は、大阪のみならず東京や奈良、京都など遠方からの申し込みがあったのもオンラインならではのいえます。また日本在住の外国人参加者には英語と日本語を併用して対応しました。学年によっては工作に苦戦する場面もありましたが、保護者の方と一緒に作業を進めて楽しそうな表情がたくさん見られました。女性技術職員ネットワークとしてオンライン企画は初めてのことで、問題点はあったかとは思いますが、無事にイベントを終えることができました。



大阪大学男女協働推進センター、21世紀懐徳堂、基礎工学研究科、理学研究科、工学研究科、産業科学研究所、蛋白質研究所、核物理研究センター、低温センターには後援として、研究紹介では宮坂研究室（基）にご協力いただきました。また、サンケイリビング新聞社様には、本イベントを紹介していただきました。心より感謝いたします。